

2025年7月31日

## 日清製粉グループ 第1四半期連結累計期間決算、通期連結業績予想

営業利益・経常利益は減益も、通期業績予想達成に向け当社想定に沿って進捗。政策保有株式の縮減も進め、四半期純利益(親会社株主帰属)は増益。

### [2026年3月期第1四半期連結累計期間決算]

売上高	2,153億64百万円	(前年同期比 100.7%)
営業利益	112億96百万円	(前年同期比 85.4%)
経常利益	129億32百万円	(前年同期比 89.1%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	116億20百万円	(前年同期比 107.1%)

(株)日清製粉グループ本社(取締役社長:瀧原 賢二)の2026年3月期第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は、海外製粉事業における小麦相場下落や為替換算の影響等があったものの、エンジニアリング事業における大型工事の増加や加工食品事業、及び中食・惣菜事業等の販売が堅調に推移し、2,153億64百万円(前年同期比100.7%)となりました。利益面では、海外製粉事業において為替換算の影響等により減益となったことや国内製粉事業における水島工場稼働に伴う立上げ費用の発生に加え、各事業において原材料費や輸送費、労務費等のコスト上昇が継続したこと等により、営業利益は112億96百万円(前年同期比85.4%)、経常利益は129億32百万円(前年同期比89.1%)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、政策保有株式縮減に伴う投資有価証券売却益を計上したことにより、116億20百万円(前年同期比107.1%)となりました。

### [2026年3月期通期連結業績予想]

売上高	8,700億円	(前期比 102.2%)
営業利益	500億円	(前期比 107.8%)
経常利益	530億円	(前期比 107.7%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	390億円	(前期比 112.4%)

2026年3月期の連結業績予想につきましては、本年5月15日に公表いたしました業績予想に変更はありません。なお、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、営業利益・経常利益は減益ではあるものの、当社想定に沿って進捗しております。通期業績予想達成に向け、第2四半期以降、各事業における価格改定を確実に実施していくとともに、2026年度を最終年度とする「日清製粉グループ 中期経営計画2026」に向けた当期の最優先課題に引き続き取り組んでまいります。

また、当期の配当につきましては、連結ベースでの配当性向を「日清製粉グループ 中期経営計画2026」最終年度である2027年3月期までに「50%目安(非経常的な特殊要因による損益を除外)」とする基本方針のもと、当初の予定通り前期より5円増額の1株当たり年間60円を予定しております。

以上